

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公表番号】特表2007-516915(P2007-516915A)

【公表日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【年通号数】公開・登録公報2007-024

【出願番号】特願2006-547148(P2006-547148)

【国際特許分類】

B 6 5 H 35/07 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 35/07 L

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

保護される表面に沿ってテープを適用するのに手で用いる装置であって、前記テープの端部が、前記保護される表面と、前記保護される表面に対して略直角に配置された処理される表面との間の継ぎ目に沿って延在しており、テープは、軸を有するコアと、前記軸周囲の円筒状周囲と、対向する細長い端部間に延在する対向する主面を有するバックングおよび前記主面の一つに沿った感圧接着剤層を含むある長さのテープとを含むテープのロールから前記装置によって適用され、前記ある長さのテープは、前記端部が前記テープのロールの側面を形成するように位置合せされた状態で前記周囲に巻き付けられており、

前記テープのロールを受容するよう適合された筐体であって、前記保護される表面に沿って摺動するよう適合されたガイド表面を有し、第 1 の面に筐体部の内側表面のテープ接触部を有する少なくとも 1 つの前記筐体部を含み、第 2 の面に、前記処理される表面に沿って摺動するよう適合され、前記ガイド表面に対して略直角に配置された、筐体部の外側表面のガイド部を有し、前記筐体部の前記第 1 および第 2 の面は、互いに平行な配置と互いに対して小さな角度を有する配置との間の範囲で互いに対して配置されており、前記第 1 および第 2 の面は、前記第 2 の面と前記ガイド表面に沿った面との交差部に近接して交差している、筐体と、

軸周囲に弓形周囲表面と外側端部とを有する端部を有する加圧構造と、

ある位置から離れる制限された所定量の回動のために前記加圧構造を前記筐体に装着する手段であって、前記弓形周囲表面の軸は前記筐体部の前記第 1 の面に対して直角であり、前記回動により、前記加圧構造の前記端部が、前記ガイド表面の逆の前記筐体部の上側へ向かって動き、前記回動は、前記端部から間隔があげられ、前記周囲表面の前記軸に交差し、前記ガイド表面と前記周囲表面とに沿った面に対して略直角な面にある回動軸周囲でなされ、加圧構造が、前記最大角度まで回動して、前記加圧構造の前記端部を、前記ガイド表面の逆の前記筐体部の上側に向かって移動するとき、前記加圧構造の前記端部の前記弓形周囲表面が、前記第 2 の面に対して 90 度以下の角度で配置されていて、前記筐体から突出している、手段と、

前記筐体の前記テープのロールをジャーナリングする手段であって、前記筐体部の前記内側表面の前記テープ接触部が、前記テープのロールの前記側面の一つに沿っている、手段と、

前記テープのロールの前記周囲から前記加圧構造の前記周囲まで前記所定の位置で前記ある長さのテープの経路を画定する手段であって、前記バックングの前記側部のテープにある接着剤は前記加圧構造の逆にあつて、ディスペンサは、前記処理される表面に対して前記筐体の部分を用いて、および前記保護される表面に沿って前記ガイド表面を用いて手動で位置付けることができ、前記ディスペンサは、前記処理および保護される表面に沿って移動して、前記加圧構造の前記周囲表面によって、および前記保護される表面と前記処理される表面との間の前記継ぎ目に対して所定の関係で前記テープの端部によって、前記保護される表面上に前記テープのロールから前記テープを正確に適用しプレスできる、手段と、を含む装置。

【請求項 2】

保護される表面に沿ってテープを適用するのに手で用いることのできる装置であって、
前記テープの端部が、前記保護される表面と、前記保護される表面に対して略直角に配置された処理される表面との間の継ぎ目に沿って延在しており、前記装置は、軸を有するコアと、前記軸周囲の円筒状周囲と、対向する細長い端部間に延在する対向する主面を有するバックングおよび前記主面の一つに沿った感圧接着剤層を含むある長さのテープとを含むテープのロールから前記テープを分配し、前記ある長さのテープは、前記端部が前記テープのロールの側面を形成するように位置合せされた状態で前記周囲に巻き付けられており、

前記テープのロールを受容するよう適合された筐体であって、前記保護される表面に沿って摺動するよう適合されたガイド表面を有し、第 1 の面に筐体部の内側表面のテープ接触部をそれぞれ有する 2 つの前記筐体部を含み、第 2 の面に、前記処理される表面に沿って摺動するよう適合され、前記ガイド表面に対して略直角に配置された、筐体部の外側表面のガイド部を有し、前記各筐体部の前記第 1 および第 2 の面は、互いに平行な配置と互いに対して小さな角度を有する配置との間の範囲で互いに対して配置され、前記第 1 および第 2 の面は、前記第 2 の面と前記ガイド表面に沿った面との交差部に近接して交差している筐体と、

各端部が、軸周囲に弓形周囲表面と外側端部とを有する対向する端部を有する加圧構造であって、前記加圧構造は、前記弓形周囲表面の軸が前記筐体部の第 1 の面に対して直角である位置から離れるいずれかの方向に制限された所定の回動のために筐体に装着されており、前記回動は、前記周囲表面の軸と交差する、ガイド表面に沿った面に対して略直角の面において、端部間の中間の回動軸周囲でなされ、前記加圧構造が、その最大角度で回動して、前記加圧構造の各端部を、前記ガイド表面の逆の前記筐体部の前記上側に向かって動かすときに、前記加圧構造の各端部の前記弓形周囲表面は、近接する第 2 の面に対して 90 度以下の角度で配置されていて、前記筐体から突出している、加圧構造と、

前記筐体の前記部分を一体に取り付ける手段と、

前記筐体の前記部分間で前記テープのロールをジャーナリングする手段であって、前記各筐体部の前記内側表面の前記テープ接触部が、前記テープのロールの側面の異なる一方に沿っている、手段と、

前記テープのロールの前記周囲から前記加圧構造の周囲まである長さのテープの経路を画定する手段であって、前記バックングの前記側部のテープにある前記接着剤は、前記加圧構造の逆のテープにあり、ディスペンサは、処理される表面に対して筐体のいずれかの部分を用いて手動で位置付けることができ、前記加圧構造の周囲表面により、および前記保護される表面と前記処理される表面との間の前記継ぎ目に対して所定の関係でテープの一つの端部により、処理される表面および保護される表面に沿って移動して、保護される表面上でテープのロールからテープを正確に適用しプレスする手段と、を含む装置。